





三日月やケエロの音悲しひとり酒(二平)

三日月がひとり淋しく光った(Gold)

今年こそ

おまじりしたし秋彼岸(岡本太郎)

新しい登録者の方から投稿まで皆様の投稿お待ちしております。



私は本を借りて図書館に行き、ひと花センターの新聞に目がいり、ボランティアとして、農作業、地域清掃などに参加したいと思い、ひと花センターに昨年の11月と夏に面談に行きました。

一帯に身体の不調を感じていました。自分の都合の良い時に来て下さいとのことでしたので安心しました。冬だし私なりに農作業の雑用が良いと思い、私私事の都合もありましたので今年3月初めにひと花センターに顔を出して4月頃暖かくなったら来ますと伝えました。職員の方が「天下茶屋駅前の花の水やりの作業があります」とのこと。参加することにしました。花の水やりは真面目でさ

していたので私は清掃の方にまわりました。天下茶屋駅前の花の水やりが私のひと花センターでの初日作業でした。その後は、私の都合の良い日に農作業の雑用、地域清掃、公園の草むしり、排気、100歳体操、衣類の仕分け、ひと花センターの花壇、中庭草むしり。

私は汗をかいて身体を動かす方が向いている体質に気がつきました。

畑で野菜を作っている方、プランターで野菜を育てている方はお歳を聞いてびっくり、プランターの土の重さ、重さは大変なものです。それを運んでいる姿を見て感服しました。今は夏で暑いから朝夕毎日2回野菜の水やり。私には出来ず幸いありません。責任の強さ、簡単な事で毎日続けることはなかなかできません。職員さん方も農作

業されている方には「信頼」されていると思います。職員の方も色々の方に相談を受けお世話されているのを見て、人の「つながり」。ひと花センターに入らせていただき、責任、信頼、つながりも学び、私なりに「思考言動」に掛け、生活していきたいのです。

私のひとりごと。あのお寺さんの前で「耳は聞いている自分のうそを聞いている」と書いておりました。私はその意味が、すぐに理解できました。人にうそついて馬鹿にして自分の耳は自分のうそを聞いている。お尚さんは私の心の中をお見通し、恐れ入りのさりげなく。一日頭の中が17は0にしていた。

「尚志てんとう虫よりの草取り、とっては出、とっては出てくる」  
「刺激的な高揚感」



→板敷コのような畝完成  
新しい畑作り...に着手



満月が光輝く秋の夜(Gold)  
秋の葉物が染みみさす  
さつまいもが順調さす  
屋上で小望月待つ父娘(岡本太郎)

当面の間プログラムのお木叶しまのm(-)-m 感染予防のうん、くん、もご自愛下さい。



私とくすり  
皆さんは一日どのくらい飲んでいますか？私は朝8錠、昼1錠、夜5錠他に鼻にさすくすり、舌にぬるくすり、薬目薬、1日7回差して、おまじりです。生かされてみんごうどおれらさうと思ってもお方の身体では自力で治す力はありません。これらもこれだけのくすりをつきあっていけないと思うとおもいます。でも生きていくには必要です。最近死んでも...病院も行くたくら...と云う方がすごく多くなっています。なぜ死ぬに死に急ぐのか私にはわかりません。私にはいっほい、アたい年があります。養生するといふ声があるとおもっています。

「人助けって大変ですね。」

7月の末の話やね。混んでる鶴見橋商店街の入り口で立ち往生になってたんよ。横断歩道をね、車いすにたくさん荷物載せて、おじいさんが押してるんやけど、全然進まんでね、信号に間に合わんのよ。俺が声を掛けに行くんやけど、とりあえず中央分離帯？に退避させようとしたけど、足が動かぬのか、全然進んでくれんし、声掛けても返事もせんし。そうこうしているうちに信号が赤になって。それでも、何とか中央付近で付き添って一緒に待機して。でも信号が青になっても動けんで、だんだんこっちもイライラしてくるし。埠が明かんから、警察に連絡してって、周りの人に言ったら、それは誰かが呼んでくれてね。次の信号でも渡り切れんで、結局俺が車止めたんよ。その後警察が来たから、もう後は任せて、結局、俺、なんかもう文句タラタラ言いながら帰ったけどね。...俺がヒーローになった話をするつもりやったんやけどね。あれ(笑)年の頃、80半ばのおじいさんやね。支給日の後だから、動けんでも買い物にいきたくったんじゃないかな。付き添ってくれる人いないのかなあ。人を助けると決めたら、文句言われてでも何としてでも助けるべきってことやね。人助けって、大変ですね。

みみずのたまご でした。

とくじい